

平成27年度

創立36年



安積三小 学校だより

三しょうの丘 No.2

(承認 賞賛 奨励)

平成27年 5月 7日

安積第三小学校

私が、以前教諭をしていた時の話題です。女の子二人が、特設の練習に参加できないと言ってきました。二人とも塾があると言います。そんなことを急にいうことは、おかしいなあと思いましたが、とりあえず許可をしました。

夜、自宅に帰っても、このことが気になっていました。意を決して、保護者に電話をしました。すると、塾は別の曜日だということがわかりました。保護者の方は、「娘に詳しいことを聞いてみます」と電話を切られました。

次の日、その子とおかあさんが学校に来られました。「先生、やはり、遊びたいから嘘をついたようでした。謝りにきました。」その子と一緒に頭を下げるお母さん。その子は目を真っ赤にして泣いています。一通り、話をした後、二人は帰っていきました。

次の日、お母さんから手紙がきました。そこには、再度の謝罪と母親としての思いがつつってありました。最後には、こう書いてありました。

「車から降りて家に入る途中で、娘が『お母さんを巻き添いにしてごめんなさい』と言いました。私は思わず抱きしめてやりました」

子どもを思う、温かなお母さんであったからこそ、問題から逃げずに真正面から対応されたのでしょう。そして、お母さんが、この問題から逃げずに一緒に謝りにこられた姿・・・言葉より何より親のその姿がこの子の心に強く残り、この言葉が自然に出たのでしょう。

この日のお母さんの姿は、子どもの心の奥深いところにあり続け、これからの、その子の成長の糧となっていくことでしょう。

ほんとうの人間らしい よい子というのは、やはり、心豊かなあたたかい家庭という  
「土づくり」の中で育つようです

東井義雄 心の花がひらくとき から抜粋

## 5月31日(日) 本校を会場に、「郡山掃除に学ぶ会」の掃除実習 ●●●●●●●●

「掃除に学ぶ会」とは、平成5年に発足した「日本を美しくする会」を母体として、各地掃除に学ぶ会として全国規模で活動しています。この掃除に学ぶ会は、全国の小・中学校のトイレを借りて、ひたすらきれいに掃除をする実践会です。この全国運動に子どもから企業人まで多くの人達が参加しています。「なぜトイレ掃除か？」掃除に学ぶ会では、以下のことを掲げています。

1. 心を磨く・・・心を取り出して磨くわけにはいかないので、目の前に見えるところを磨く。特に、人の嫌がるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人は、いつも見えているものに心も似てくる。
2. 謙虚な人になれる・・・どんなに才能があっても、ごうまんな人は人を幸せにすることはできない。人間の第一条件は、まず謙虚であること。謙虚になるための確実で一番の近道がトイレ掃除。
3. 気づく人になれる・・・世の中で成果を上げる人とそうでない人の差は、無駄があるか、ないか。無駄をなくすためには、気づく人になることによって、無駄がなくなる。その「気づき」をもっとも起こさせてくれるのがトイレ掃除。
4. 感動心を育む・・・感動こそ人生。できれば人を感動させるような生き方をしたい。そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一。人が人に感動するのは、その人が手と足と身体を使い、さらに身を低くして一所懸命取り組んでいる姿に感動する。特に、人の嫌がるトイレ掃除は絶好の実践。
5. 感謝の心が芽生える・・・人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。その点、トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になれる。

※ 31日当日は、午前8時30分に体育館で開会式、掃除実習をし、その後体育館で昼食を食べ活動を振り返ります。午後1時ごろ閉会となります。